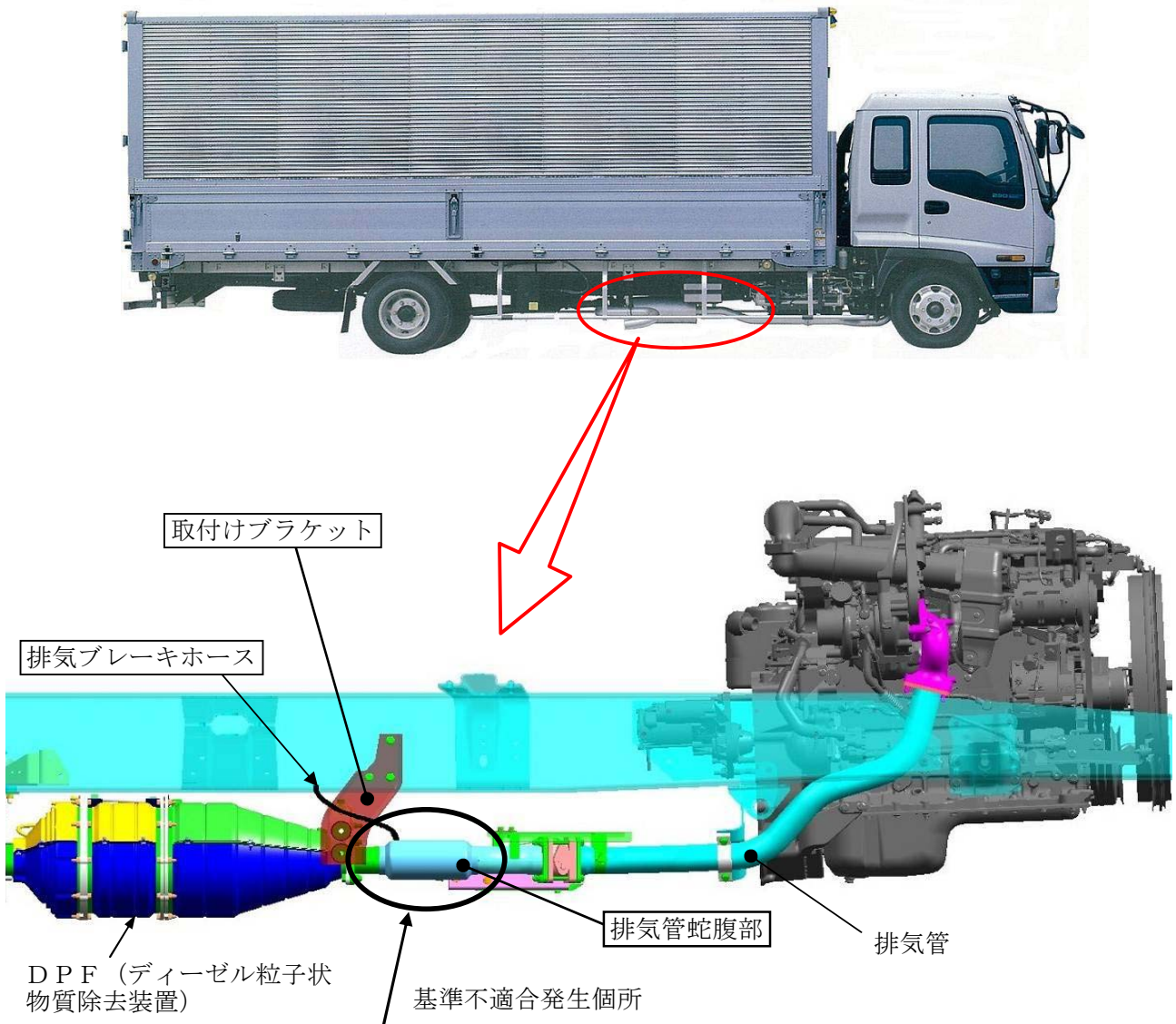


## 改善箇所説明図



排気管の取付け方法が不適切なため、排気管とDPF（ディーゼル粒子状物質除去装置）を組付ける時に、接合部の位置がずれているものがある。そのため、排気管蛇腹部に高応力が発生し、エンジン振動などで当該部位に亀裂が生じ、そのまま使用を続けると、漏れた排気ガスにより排気ブレーキホースに損傷を与えるおそれがあるとともに騒音が増大するおそれがある。

### 改善の内容：

全車両、排気管の組付け状態を検査治具にて点検し、接合部の位置が不適切な場合は、排気管取付けブラケット及び排気管蛇腹部を対策品に交換するとともに、排気ブレーキホースを新品に交換する。

注：  は点検し、必要に応じて交換する部品を示す。

識別： 排気管取付けブラケットに、白色ペイントを塗布する。